研究論文/研究ノート/書評/翻訳

**論文題目(=MSゴシック14pt)**

－副題（サブタイトル）(=MSゴシック12pt)－

論文題目、もしくは副題のあと1行（12pt）あけて氏名等を書く

# 氏　名(=MSゴシック12pt)　（○○大学大学院○○研究科）(=MSゴシック12pt)

# 氏　名[[1]](#footnote-1)\*(=MSゴシック12pt)　（○○大学○○学部）(=MSゴシック12pt)

# 著者が複数の場合は、行を変えて順に記載する。責任著者名の著者名の右肩に\*（アスタリスク）を付す。

最終著者のあとに1行（12pt）あける。

**要約:**

「要約：」より一段下げ、文頭を1文字分下げて書き始める(「要約：」は太字) (スペースを含み200文字以内）【10.5pt, 両端揃え】

要約のあとに1行（10.5pt）下げる。

**キーワード:**

「キーワード：」より一段下げ、文頭を1文字分下げて書き始め、単語の区切りは「，」を用いる(「キーワード：」は太字)。 【10.5pt, 両端揃え】5個以内のキーワード

キーワードのあとに1行（10.5pt）下げて本文タイトル

# タイトル【見出し1 =MSゴシック12pt】

## 節のタイトル【見出し2 =MSゴシック10.5pt】

文頭を1文字（10.5pt）下げて本文開始。本文および図表タイトルは明朝体で，章タイトルはゴシック体で，本文中の英数字はTimes New Romanに統一してください。

　本文，本文…本文1)。

青文字のインストラクションは

提出時には忘れずに消してください

表\*\*　表タイトル

出所：Okayama (2013), p.143

図\*\*　図タイトル

**謝辞**【=**MSゴシック太字**, 12point】

例：「本研究は科研費●●からの支援を受けて行われました。」【10.5pt, MS明朝】

**注**【=**MSゴシック太字**, 12point】

1. 注本文…。【10.5pt, MS明朝】
2. 注本文…。

**参考文献** 【=**MSゴシック太字**, 12point】

【書籍の記載例。これ以降、10.5pt;　2行目に渡るときは1.5字ぶら下げ。】

野中郁次郎（1974）．『組織と市場－組織の環境適合理論－』千倉書房．

野中郁次郎・加護野忠男・小松陽一・奥村昭博・坂下昭宣（1978）．『組織現象の理論と測定』千倉書房．

Nonaka, I. Takeuchi, H.（1995）． *The knowledge creating company: How Japanese companies create the dynamics of innovation.*  Oxford University Press（梅本勝博訳『知識創造企業』東洋経済新報社, 1996 年）．

【書籍の特定の章の記載例】

竹内弘高・野中郁次郎（1986）．「新製品開発の戦略と組織」今井賢一（編著）『イノベーションと組織』（pp.97-126）．東洋経済新報社．

Imai, K., Nonaka, I., Takeuchi, H.（1985）. Managing the new product development process: How Japanese companies learn and unlearn. In K. B. Clark, R. H. Hayes C. Lorenz (Eds.), *The uneasy alliance: Managing the productivity technology dilemma* (pp.337-375). Harvard Business School Press.

【定期刊行物の記載例】

大藪亮（2019）．「サービス支店のマーケティング研究：サービス・ドミナント・ロジックとサービス・ロジックにおける価値共創」『岡山理科大学　経営とデータサイエンス』1, 1-18.

Takahashi, R.（2021）． Modeling resident’s attitudes toward social business. *OUS Management and Data Science, 3*, .1-25.

1. \* 責任著者：メールアドレス [↑](#footnote-ref-1)